

衛研第3 - 42号
平成29年 1月18日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. インフルエンザ流行情報
3. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 結核の届出状況（月報）
6. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
7. 全国及び関東情報
8. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493 - 59 - 9325
FAX 0493 - 59 - 9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 2 週（平成 29 年 1 月 9 日～平成 29 年 1 月 15 日）

今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 1 人の届出があった。四類感染症は、E 型肝炎 1 人、レジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 1 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、急性脳炎 1 人、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 5 人、梅毒 2 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**インフルエンザ**(13.55 20.21 : 図 1, 2, 3)の定点当たり報告数は、前週より大きく増加した。年末年始の休暇が明け、小中学校等の授業が開始されたこともあり、今後の患者数の急激な増加には注意が必要である。保健所別では、加須(10.00 28.50)、鴻巣(9.68 23.05)保健所管内で大きく増加し、草加(35.06)保健所管内からの報告が多い。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(1.28 1.87 : 図 5)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、越谷市(0.63 1.88)、鴻巣(0.50 1.75)保健所管内で大きく増加し、熊谷(4.78)、春日部(4.00)保健所管内からの報告が多い。**流行性耳下腺炎**(0.60 0.72 : 図 6)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、狭山(2.29)、朝霞(2.00)保健所管内からの報告が多い。

眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎** 1 人、**流行性角結膜炎** 16 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 6 人、**クラミジア肺炎** 1 人、**インフルエンザ(入院)** 43 人の報告があった。インフルエンザ(入院)は前週(20 人)より大きく増加した(図 4)。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症 報告なし

二類感染症 報告なし（結核を除く）

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 人（類型 患者、血清型 O26）

四類感染症 E 型肝炎 1 人

レジオネラ症 1 人（病型 肺炎型）

五類感染症 アメーバ赤痢 1 人（病型 腸管アメーバ症）

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人（菌種 *Klebsiella*.sp）

急性脳炎 1 人（病原体 不明）

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人

侵襲性肺炎球菌感染症 5 人

梅毒 2 人（病型 早期顕症 期 1 人、無症状病原体保有者 1 人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

インフルエンザ流行情報

インフルエンザ患者は第2週に入り再び大きく増加した(図1)。定点当たり報告数は県全体で20.21となり、これを上回った保健所は、草加、加須、幸手、越谷市、鴻巣、狭山、朝霞保健所であった。これらの地域での更なる患者増加やその他の地域での流行拡大も懸念される(図2)。

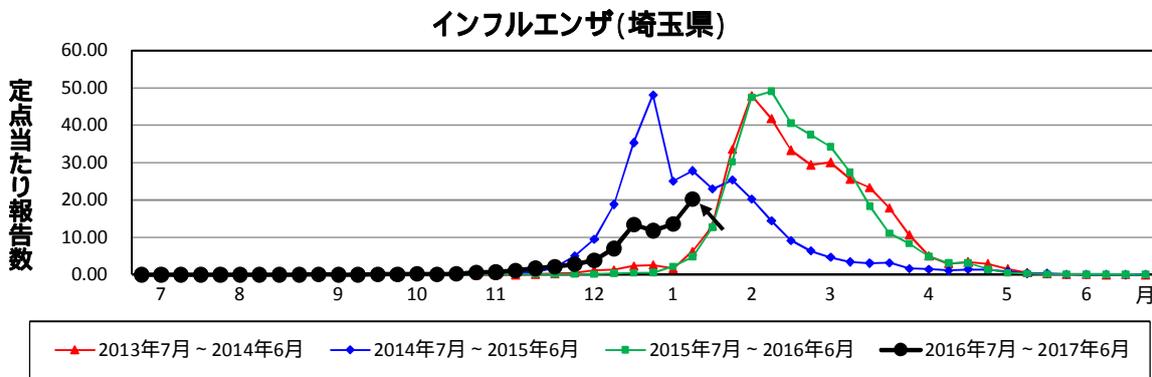


図1 インフルエンザ 定点当たり報告数の推移 (2013年7月～)

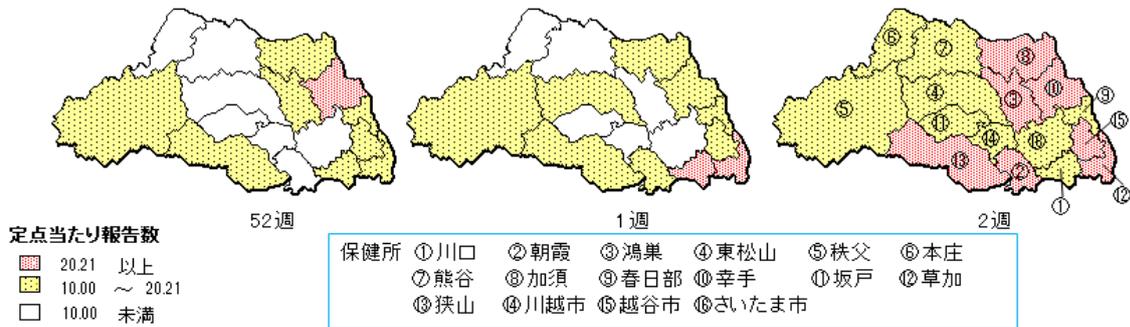


図2 保健所別 定点当たり報告数の推移 (2016年52週～2017年2週)

20歳未満の年齢階級別の患者数は、第2週は5-9歳が1,050人と最も多く、次いで0-4歳の940人、10-14歳の639人であった(図3)。今後、10-14歳の急激な増加の可能性がある。

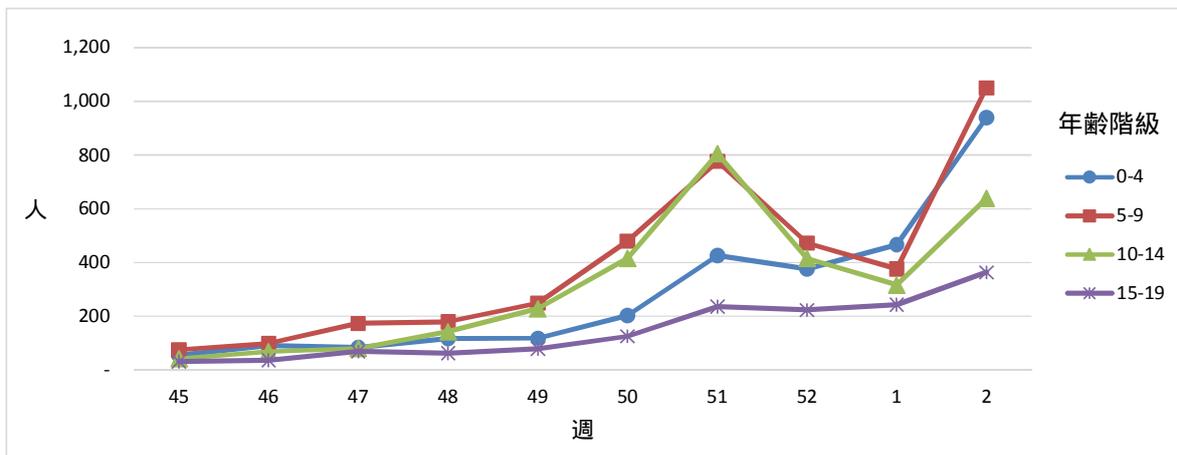


図3 年齢階級別(20歳未満) 報告患者数の推移 (2016年45週～2017年2週)

インフルエンザ流行情報（続き）

基幹定点報告対象疾患のインフルエンザ入院は、基幹定点7カ所から43人の報告があった。年齢階級別では70歳以上が33人、50-59歳、60-69歳が各3人、0-4歳、5-9歳が各2人であった（図4）。

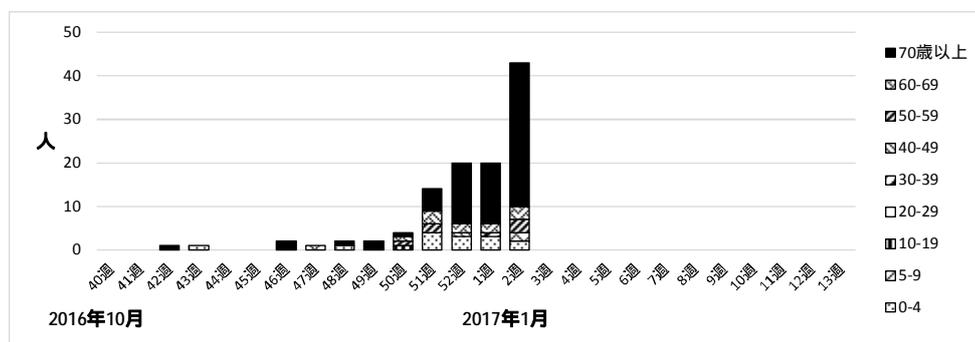


図4 今シーズンのインフルエンザ入院 年齢階級別報告数（第40週～）

第51週(12月19日～12月25日)以降の4週間に、12保健所管内の病原体定点で採取された検体からのインフルエンザウイルスの検出は62件で、A香港型(AH3)が56件と90.3%を占め、A香港型主流の流行が継続している(表1)。

表1. 第51～2週に採取された検体からのインフルエンザウイルス検出数

型	51w	52w	1w	2w	4週の合計
AH1pdm09	-	1	-	-	1
AH3	20	8	19	9	56
Bビクトリア系統	-	1	1	-	2
B山形系統	2	-	1	-	3

(-:0)

< 今週の注目される定点把握対象疾患の推移 >

図5 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

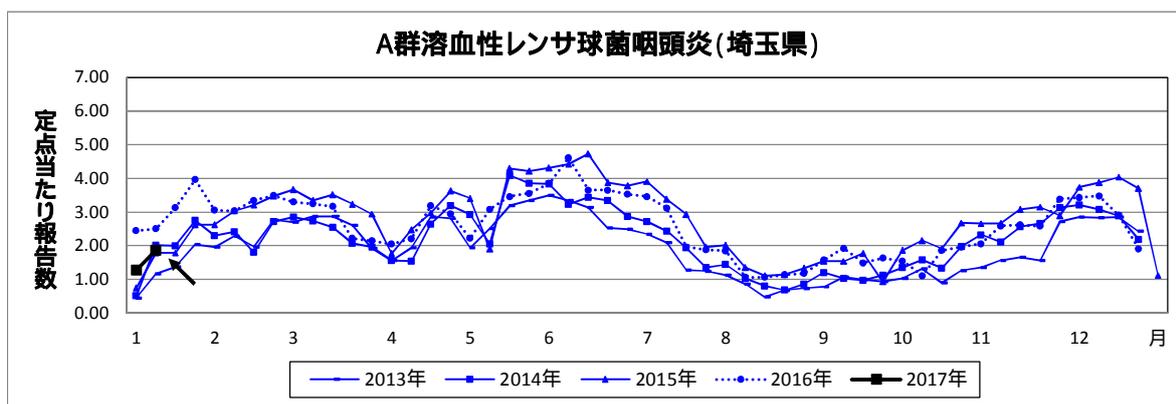
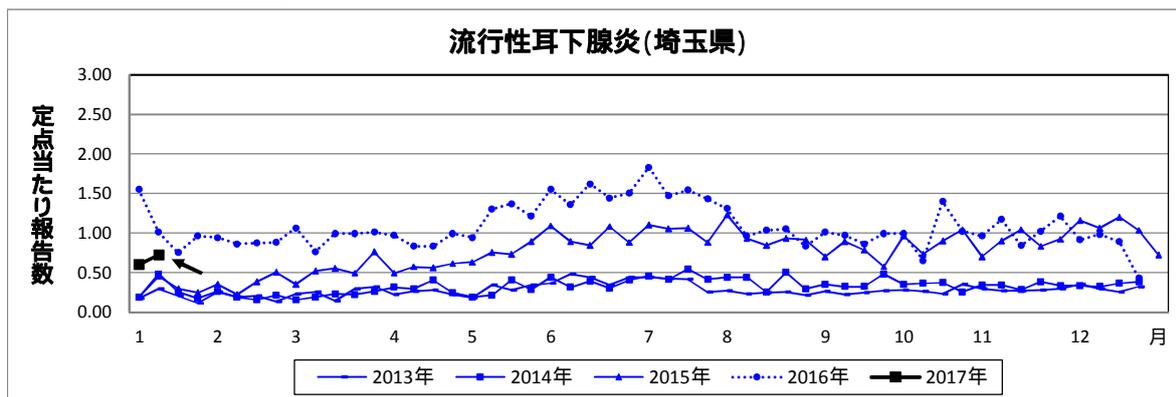


図6 流行性耳下腺炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第2週)

(2017年1月17日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2016年 累計		今週 届出	累 計	2016年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1372	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢			11	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症	1	2	174				
四類感染症							
E型肝炎	1	1	15	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1を除く)			
A型肝炎			6	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサナル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱			1	レジオネラ症	1	1	89
つつが虫病			1	レプトスピラ症			
デング熱			13	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢	1	2	44	侵襲性肺炎球菌感染症	5	5	108
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			7	水痘*			9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	50	先天性風しん症候群			
急性脳炎	1	1	38	梅毒	2	3	190
クリプトスポリジウム症				播種性クリプトコックス症			8
クロイツフェルト・ヤコブ病			5	破傷風			4
劇症型溶血性レンサ球菌感染症			21	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群		1	40	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			9
ジアルジア症			1	風しん			4
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	9	麻しん			8
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症			7
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他	累計
					累計は診断日で集計 * 2016年累計は暫定値です。 * 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(12月分)

12月の届出数は、患者58人、疑似症患者4人、無症状病原体保有者44人の計106人で、前月より増加し、再び100人を上回ったが、前年同月の116人より少なかった。

表1 診断月別の届出数の推移(2015年12月～2016年12月)

	2015年*		2016年												累計**
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
総計	116	129	115	106	102	107	125	127	129	132	116	78	106	1372	
年齢階級															
10歳未満	7	2	2	1	1	3	5	3	2	7	3	1	4	34	
10歳代	1	1	5	0	1	2	2	1	3	1	2	1	0	19	
20歳代	8	4	12	8	17	16	13	19	11	7	11	8	9	135	
30歳代	16	7	8	9	8	6	8	9	14	14	7	6	9	105	
40歳代	6	13	22	15	7	10	13	14	17	10	11	9	12	153	
50歳代	13	14	8	7	10	10	14	14	14	24	17	13	15	160	
60歳代	16	26	16	16	10	19	17	16	20	20	17	9	18	204	
70歳代	27	32	16	25	25	19	20	14	25	19	25	11	20	251	
80歳以上	22	30	26	25	23	22	33	37	23	30	23	20	19	311	
性															
男	61	72	71	66	59	59	80	75	73	81	71	43	76	826	
女	55	57	44	40	43	48	45	52	56	51	45	35	30	546	
類型															
患者	83	70	77	73	83	71	88	87	91	100	72	52	58	922	
感染症死亡者の死体	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3	
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
疑似症患者	0	2	0	0	2	3	0	2	1	0	0	1	4	15	
無症状病原体保有者	33	56	38	33	17	32	36	38	37	32	43	25	44	431	
病型															
肺結核	55	43	58	51	62	54	60	73	74	75	55	36	45	686	
肺結核及びその他の結核	5	6	7	7	5	4	3	3	2	5	5	2	2	51	
その他の結核	23	22	12	15	16	14	26	11	15	20	13	14	11	189	
疑似症患者	0	2	0	0	2	3	0	2	1	0	0	1	4	15	
無症状病原体保有者	33	56	38	33	17	32	36	38	37	32	43	25	44	431	

*:2015年の届出数は暫定値

** :2016年1月からの累積届出数

12月に診断された106人を病型別にみると、肺結核では10歳未満及び10歳代を除く年齢階級から届出があり、70歳代が12人と最も多く、無症状病原体保有者では10歳代を除く年齢階級から届出があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2016年12月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	45	2	11	4	44	106
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	4	4
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	3	0	1	1	4	9
30歳代	3	0	0	0	6	9
40歳代	3	0	1	1	7	12
50歳代	6	0	0	1	8	15
60歳代	9	0	2	0	7	18
70歳代	12	1	3	0	4	20
80歳以上	9	1	4	1	4	19

保健所	報告患者数										保健所別										平成29年1月9日～平成29年1月15日)									
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	伝染性紅斑	手足口病	水痘	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 # 3	クラミジア肺炎	感(口)染性胃腸炎(ウイルス)	インフルエンザ(入院)										
全	5093	32	35	301	1001	95	11	10	64	1	2	116	1	16	-	-	6	1	-	43										
川	20.21	0.20	0.22	1.87	6.22	0.59	0.07	0.40	0.01	0.01	0.72	0.02	0.39	-	-	0.60	0.10	-	-	4.30										
川	443	3	3	33	91	9	-	1	7	-	-	11	-	5	*	*	*	*	*	*										
朝	17.72	0.19	0.19	2.06	5.69	0.56	-	0.06	0.44	-	-	0.69	-	1.00	*	*	*	*	*	*										
朝	427	1	6	32	99	5	2	3	5	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-										
朝	20.33	0.07	0.43	2.29	7.07	0.36	0.14	0.21	0.36	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-										
鴻	438	3	4	21	58	4	-	1	3	-	-	4	1	-	*	*	*	*	*	*										
鴻	23.05	0.25	0.33	1.75	4.83	0.33	-	0.08	0.25	-	-	0.33	0.33	-	*	*	*	*	*	*										
東	106	-	-	7	25	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-										
東	13.25	-	-	1.40	5.00	0.20	-	-	0.20	-	-	-	2.00	-	-	-	1.00	-	-	-										
秩	52	1	-	2	11	-	-	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	-	-	18										
秩	10.40	0.33	-	0.67	3.67	-	-	-	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	-	18.00										
本	74	-	2	3	10	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1										
本	10.57	-	0.50	0.75	2.50	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00										
熊	243	2	-	43	145	13	2	1	3	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	1										
熊	18.69	0.22	-	4.78	16.11	1.44	0.22	0.11	0.33	-	-	0.89	-	0.50	-	-	-	-	-	1.00										
加	285	1	-	4	7	2	-	-	3	-	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*										
加	28.50	0.17	-	0.67	1.17	0.33	-	-	0.50	-	-	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*										
春	179	-	3	24	23	2	-	-	2	-	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*										
春	17.90	-	0.50	4.00	3.83	0.33	-	-	0.33	-	-	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*										
幸	362	5	3	12	41	3	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1										
幸	25.86	0.56	0.33	1.33	4.56	0.33	0.11	-	-	-	-	0.22	-	-	-	-	-	-	-	1.00										
坂	112	1	1	6	46	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6										
坂	11.20	0.17	0.17	1.00	7.67	0.33	-	-	0.17	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	6.00										
草	596	6	2	15	66	4	1	1	4	1	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*										
草	35.06	0.55	0.18	1.36	6.00	0.36	0.09	0.09	0.36	0.09	-	0.09	-	-	*	*	*	*	*	*										
狭	549	4	3	19	90	12	3	1	8	-	1	39	-	2	-	-	2	-	-	-										
狭	21.12	0.24	0.18	1.12	5.29	0.71	0.18	0.06	0.47	-	0.06	2.29	-	0.40	-	-	2.00	-	-	-										
川	240	1	1	16	51	6	-	-	2	-	-	2	-	-	*	*	*	*	*	*										
川	18.46	0.13	0.13	2.00	6.38	0.75	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-	*	*	*	*	*	*										
越	314	1	2	15	20	4	-	-	6	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	2										
越	24.15	0.13	0.25	1.88	2.50	0.50	-	-	0.75	-	-	0.13	-	-	-	-	2.00	-	-	2.00										
さい	673	3	5	49	218	28	1	2	18	-	1	18	-	5	-	-	2	-	-	14										
さい	16.41	0.11	0.19	1.81	8.07	1.04	0.04	0.07	0.67	-	0.04	0.67	-	0.63	-	-	2.00	-	-	14.00										

(- : 0.00)
1 鳥インフルエンザを除く
2 真菌性を含む
3 オウム病を除く
1月 17日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第2週 平成29年1月9日～平成29年1月15日)

	合計																				
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	5,093	17	63	180	198	205	277	255	233	194	194	174	639	364	461	425	414	321	225	152	102
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
RSウイルス感染症	32	8	15	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	35	2	5	7	5	5	2	1	2	-	2	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	301	-	-	21	22	23	36	30	35	22	16	22	50	5	19	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,001	11	34	94	65	71	73	83	70	68	47	41	150	44	150	-	-	-	-	-	-
水痘	95	-	2	6	3	9	15	13	15	13	6	3	7	1	2	-	-	-	-	-	-
手足口病	11	-	-	5	2	-	1	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	10	-	-	-	1	-	1	2	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	64	-	23	32	6	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	116	-	-	2	3	8	12	16	29	11	10	4	17	1	3	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	16	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	5	4	1	2	2	1	-
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	6	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	43	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	33

表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 51 週

(12月19日～12月25日)

平成29年1月18日

インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は富山県(14.31)、群馬県(14.09)、秋田県(13.76)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は430例と前週と比較して増加した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢別では0歳(16例)、1～9歳(65例)、10代(33例)、20代(15例)、30代(5例)、40代(10例)、50代(24例)、60代(42例)、70代(77例)、80歳以上(143例)であった。

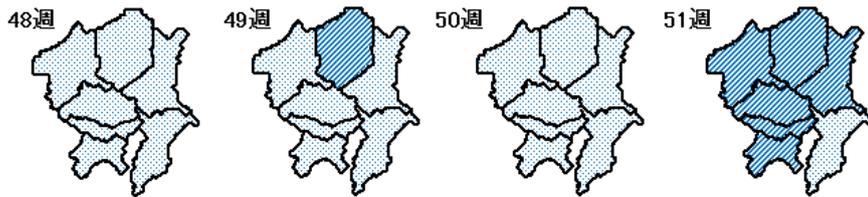
RSウイルス感染症の報告数は2,217例と第41週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約70%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(1.22)、宮崎県(1.06)、石川県(1.03)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(7.70)、北海道(4.65)、長崎県(4.64)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山形県(33.20)、福井県(32.68)、宮崎県(31.33)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(1.08)、北海道(1.07)、長崎県(1.05)である。手足口病の定点当たり報告数は第44週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.64)、鹿児島県(1.58)、熊本県(1.26)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.08)、島根県(0.61)、福島県(0.59)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(3.17)、富山県(2.86)、山口県(2.77)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は岐阜県(2.80)、富山県(2.40)、青森県(2.17)、奈良県(2.17)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は横ばいであった。16県から26例報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～4歳(17例)、5～9歳(1例)、30代(1例)、70歳以上(1例)であった。

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、千葉県を除く1都5県で注意報基準値10.00を超えた。

インフルエンザ



		平成28年 51週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	41,428	16,920	1,209	912	1,324	3,330	2,065	4,360	3,720
	定点当たり	8.38	11.26	10.08	12.00	14.09	13.37	9.65	10.58	11.01
RSウイルス感染症	報告数	2,217	231	19	36	17	36	27	57	39
	定点当たり	0.70	0.24	0.25	0.75	0.29	0.23	0.20	0.22	0.18
咽頭結膜熱	報告数	1,522	346	21	15	24	56	42	111	77
	定点当たり	0.48	0.37	0.28	0.31	0.41	0.35	0.31	0.43	0.36
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	7,432	2,343	156	64	181	459	449	587	447
	定点当たり	2.36	2.48	2.08	1.33	3.12	2.91	3.35	2.26	2.12
感染性胃腸炎	報告数	54,503	18,162	1,448	525	886	3,708	2,599	5,368	3,628
	定点当たり	17.28	19.24	19.31	10.94	15.28	23.47	19.40	20.65	17.19
水痘	報告数	1,902	581	45	31	32	128	61	144	140
	定点当たり	0.60	0.62	0.60	0.65	0.55	0.81	0.46	0.55	0.66
手足口病	報告数	1,222	273	8	8	40	31	55	73	58
	定点当たり	0.39	0.29	0.11	0.17	0.69	0.20	0.41	0.28	0.27
伝染性紅斑	報告数	401	123	7	2	14	18	15	51	16
	定点当たり	0.13	0.13	0.09	0.04	0.24	0.11	0.11	0.20	0.08
突発性発しん	報告数	1,207	404	20	33	26	67	52	108	98
	定点当たり	0.38	0.43	0.27	0.69	0.45	0.42	0.39	0.42	0.46
百日咳	報告数	36	12	3	2	-	1	4	2	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.04	0.04	-	0.01	0.03	0.01	-
ヘルパンギーナ	報告数	212	37	6	2	4	6	2	12	5
	定点当たり	0.07	0.04	0.08	0.04	0.07	0.04	0.01	0.05	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	2,778	534	28	10	21	141	38	116	180
	定点当たり	0.88	0.57	0.37	0.21	0.36	0.89	0.28	0.45	0.85
急性出血性結膜炎	報告数	9	4	2	-	-	1	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.02	0.12	-	-	0.03	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	477	177	8	10	12	19	17	21	90
	定点当たり	0.69	0.87	0.47	0.83	0.86	0.48	0.50	0.54	1.88
細菌性髄膜炎 #2	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	12	4	2	-	-	1	1	-	-
	定点当たり	0.03	0.05	0.15	-	-	0.10	0.11	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	396	76	11	10	12	6	11	22	4
	定点当たり	0.84	0.94	0.85	1.43	1.50	0.60	1.22	0.88	0.44
クラミジア肺炎 #3	報告数	10	4	-	1	-	-	-	3	-
	定点当たり	0.02	0.05	-	0.14	-	-	-	0.12	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	26	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.05	0.01	-	-	-	0.10	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

全国・関東情報 第 52週

(12月26日～1月1日)

平成29年1月18日

インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は岐阜県(18.26)、秋田県(17.54)、茨城県(14.31)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は435例と前週(12月28日現在)と比較して増加した。都道府県別では45都道府県から報告があり、年齢別では0歳(22例)、1～9歳(70例)、10代(14例)、20代(6例)、30代(8例)、40代(11例)、50代(14例)、60代(35例)、70代(88例)、80歳以上(167例)であった。

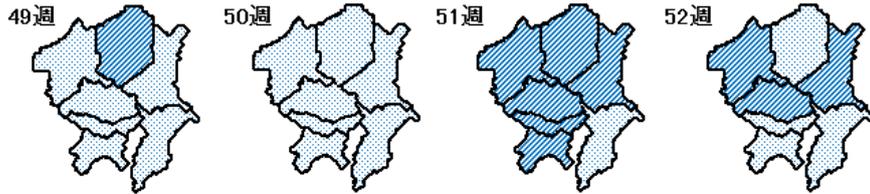
RSウイルス感染症の報告数は1,850例と第41週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.84)、佐賀県(0.83)、新潟県(0.78)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(3.97)、北海道(2.95)、長崎県(2.66)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県(23.55)、大分県(21.58)、宮崎県(17.89)である。水痘の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福島県(0.98)、高知県(0.93)、熊本県(0.90)である。手足口病の定点当たり報告数は第44週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.00)、鹿児島県(0.95)、熊本県(0.94)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は島根県(0.65)、宮崎県(0.53)、愛媛県(0.43)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は第49週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は富山県(3.14)、新潟県(2.71)、和歌山県(2.45)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は岐阜県(2.80)、群馬県(2.13)、石川県(1.40)、鳥取県(1.40)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。14都道府県から35例報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～4歳(25例)、5～9歳(6例)、70歳以上(2例)であった。

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、茨城県(14.31)、埼玉県(11.87)、群馬県(11.26)で10.00を超えた。

インフルエンザ



		平成28年 52週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	41,438	14,155	1,717	635	1,058	2,706	1,708	3,461	2,870
	定点当たり	8.54	9.99	14.31	8.36	11.26	11.87	8.67	9.08	8.94
RSウイルス感染症	報告数	1,850	176	18	19	13	45	26	26	29
	定点当たり	0.60	0.20	0.24	0.40	0.22	0.31	0.21	0.11	0.15
咽頭結膜熱	報告数	1,224	229	8	9	22	32	24	76	58
	定点当たり	0.39	0.26	0.11	0.19	0.38	0.22	0.19	0.31	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	4,777	1,341	129	30	102	273	291	307	209
	定点当たり	1.54	1.51	1.72	0.63	1.76	1.91	2.33	1.27	1.05
感染性胃腸炎	報告数	29,897	8,222	900	275	534	1,267	1,098	2,454	1,694
	定点当たり	9.64	9.24	12.00	5.73	9.21	8.86	8.78	10.14	8.51
水痘	報告数	1,581	463	65	14	15	109	51	114	95
	定点当たり	0.51	0.52	0.87	0.29	0.26	0.76	0.41	0.47	0.48
手足口病	報告数	739	151	7	4	15	13	27	37	48
	定点当たり	0.24	0.17	0.09	0.08	0.26	0.09	0.22	0.15	0.24
伝染性紅斑	報告数	247	64	3	1	10	9	6	20	15
	定点当たり	0.08	0.07	0.04	0.02	0.17	0.06	0.05	0.08	0.08
突発性発しん	報告数	849	243	20	19	16	33	38	55	62
	定点当たり	0.27	0.27	0.27	0.40	0.28	0.23	0.30	0.23	0.31
百日咳	報告数	25	7	-	1	-	1	1	4	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.02	-	0.01	0.01	0.02	-
ヘルパンギーナ	報告数	150	20	1	-	4	1	4	6	4
	定点当たり	0.05	0.02	0.01	-	0.07	0.01	0.03	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	2,220	341	23	3	23	62	30	78	122
	定点当たり	0.72	0.38	0.31	0.06	0.40	0.43	0.24	0.32	0.61
急性出血性結膜炎	報告数	6	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.03	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	360	163	14	19	14	16	23	10	67
	定点当たり	0.54	0.91	0.82	1.58	1.00	0.50	0.74	0.29	1.68
細菌性髄膜炎 #2	報告数	7	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	11	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.10	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	360	51	6	4	17	8	8	6	2
	定点当たり	0.76	0.62	0.46	0.57	2.13	0.80	0.89	0.24	0.20
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	35	4	-	-	-	-	-	2	2
	定点当たり	0.07	0.05	-	-	-	-	-	0.08	0.20

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

[総合トップ](#) > [健康・福祉](#) > [感染症](#) > [感染症情報センター](#) > [感染症の流行情報](#) > [感染症発生動向調査](#) > [感染症発生動向調査 2017年](#) > 感染症の流行状況 2017年 第2週

感染症発生動向調査 2017年

■ [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)

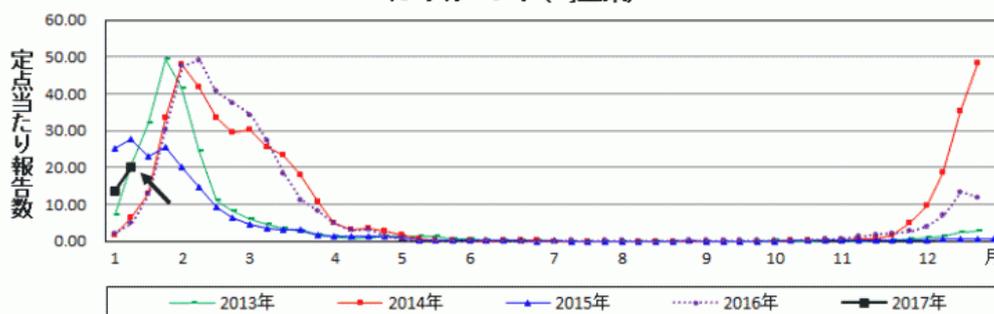
感染症の流行状況 2017年 第2週

2017年第2週（平成29年1月9日～1月15日）の要点 平成29年1月18日

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週より大きく増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★★	突発性発しん	↑	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★★
水痘(みずぼうそう)	→	★★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	↓	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン